

津市地震防災マップ をリニューアル

6月1日から
全戸配布開始

平成28年5月18日



津市 地震防災マップ

津市地震防災マップは、南海トラフを震源とする巨大地震が発生した場合に市内に及ぼす被害想定等を示したマップです。

※平成26年3月に公表した三重県地震被害想定調査結果(理論上起こりうる最大クラスの地震を想定)をもとに作成しています。

また、日ごろから家庭でできる防災対策や、地震が発生したときの注意点など、市民の皆様の避難に役立つ情報を掲載しています。お住まいの地域にはどのような危険があるのか確認し、地震による被害を少しでも防げるよう、日ごろからの防災対策を心がけてください。

- ① 津波浸水時間・液状化危険度
- ① 家の中の安全対策
- ① 我が家の防災メモ
- ① 防災に関するお問い合わせ
- ① 災害情報の入手手段
- ① 命を守るポイント
- ① 備蓄品



 **津市**
平成28年3月作成

津市地震防災マップのこれまでの経緯

平成19年4月 津市地震防災マップ(60地区)を全戸配布

平成23年3月 東日本大震災発生

国では、東日本大震災での教訓を踏まえ、想定外をなくすという観点から、最大クラスの地震・津波が発生した場合の被害を想定

- 南海トラフの巨大地震モデル検討会の設置(平成23年8月)
- 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループの設置(平成24年4月)

平成26年3月 三重県が「地震被害想定調査結果」を公表

平成28年6月 津市地震防災マップ(23地区)を全戸配布

津市地震防災マップの全戸配布

配布部数 約115,200部（印刷部数:130,000部）

配布先 市内全戸

配布方法 広報津 平成28年6月1日号と同時配布

地区数 23地区に分割（中学校区を基本とし、その区域が広大な場合は更に分割）

津地域（9地区）
久居地域（3地区）
河芸地域（1地区）
芸濃地域（1地区）
安濃地域（1地区）

美里地域（1地区）
香良洲地域（1地区）
一志地域（1地区）
白山地域（2地区）
美杉地域（3地区）

事業費 42,541,200円

（平成27年度予算／
津市地震防災マップ作成業務委託）

津市地震防災マップの構成

家庭での防災対策や地震発生時の心構え等を掲載した「啓発面」と、南海トラフ巨大地震が発生した場合に市内で予想される震度や津波の浸水被害について示した「地図面」で構成

啓発面



津波浸水時間や液状化危険度、家の中の安全対策や命を守るポイントなどを掲載

地図面

沿岸部



津波による浸水のおそれがある地区については、「揺れやすさマップ」と「津波浸水時間マップ」、「津波浸水深マップ」を表示

沿岸部以外



津波による浸水のおそれがない地区は「揺れやすさマップ」のみを表示

津市地震防災マップの見方【啓発面】

家庭でできる防災対策や地震発生時の心構え等を掲載

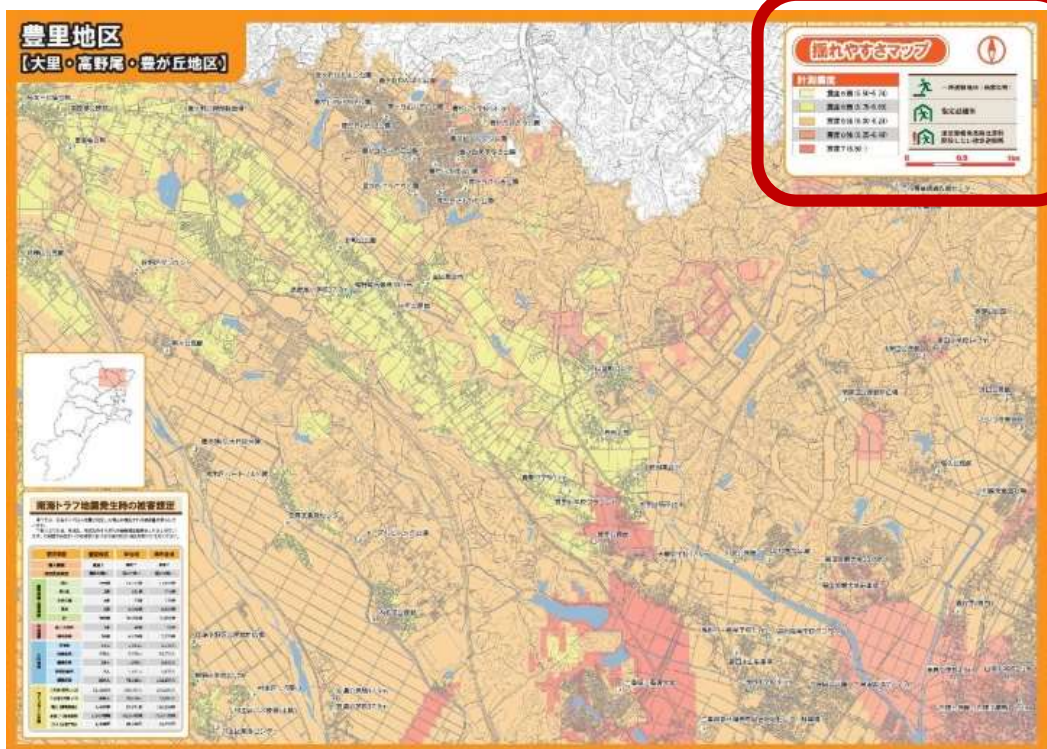
- ① 表紙
- ② 津波浸水時間・液状化危険度マップ
- ③ 家の中の安全対策
- ④ 我が家の防災メモ
- ⑤ 災害情報の入手手段
- ⑥ 命を守るポイント
- ⑦ 備蓄品



津市地震防災マップの見方【地図面①】

揺れやすさマップ

平成26年3月に三重県が公表した「地震被害想定調査結果」の南海トラフ巨大地震(理論上最大クラス)が発生した場合に市内で想定される震度を、計測震度別にグラデーションで表示



計測震度	
	震度6弱 (5.50-5.74)
	震度6弱 (5.75-5.99)
	震度6強 (6.00-6.24)
	震度6強 (6.25-6.49)
	震度7 (6.50-)

想定震度をカラー別に表示

	一時避難場所（地震災害）
	指定避難所
	津波警報発表時は原則開設しない指定避難所

地震発生時に使用する避難施設「一時避難場所」「指定避難所」を地図上に表示

津市地震防災マップの見方【地図面②】

南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。

下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目		豊里地区	津地域	津市全域
最大震度		震度7	震度7	震度7
液状化危険度		極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害 全壊棟数	揺れ	299棟	14,025棟	23,949棟
	液状化	2棟	621棟	741棟
	土砂災害	4棟	33棟	177棟
	津波	0棟	6,306棟	6,934棟
	計	305棟	20,986棟	31,801棟
火災被害	総出火件数	1件	40件	62件
	焼失棟数	36棟	4,128棟	5,378棟
人的被害	死者数	14人	1,463人	2,118人
	負傷者数	176人	5,876人	10,720人
	重傷者数	29人	1,508人	2,620人
	要救助者数	0人	1,411人	1,430人
	避難者数	934人	78,338人	103,557人
ライフライン支障	上水道(断水人口)	11,569人	159,997人	279,500人
	下水道(支障人口)	496人	29,118人	32,895人
	電力(停電軒数)	4,467軒	57,971軒	120,308軒
	通信(不通回線数)	1,997回線	48,554回線	78,679回線
	ガス(支障戸数)	1,249戸	28,020戸	40,737戸

被害想定

三重県地震被害想定調査結果に基づき、市内で想定される具体的な被害を算出し、被害の全体像を明らかにするために、建物被害・人的被害などの被害量を市全域、地域等に取りまとめ

最大震度

火災被害

液状化危険度

人的被害

建物被害

ライフライン支障

津市地震防災マップの見方【地図面③】

津波浸水時間マップ

沿岸部は、南海トラフ巨大地震(理論上最大クラス)が発生してから浸水深が30cmに到達するまでの時間を表示(津波が満潮時に発生した場合の到達予測時間)

※浸水深が30cmに到達しない地域については表示していない

浸水深が30cmに到達する時間	
地震発生～5分	
6～60分	
61～75分	
76～90分	
91～115分	
116～130分	
131～145分	
146～160分	
161～175分	
176分～	

津波浸水深マップ

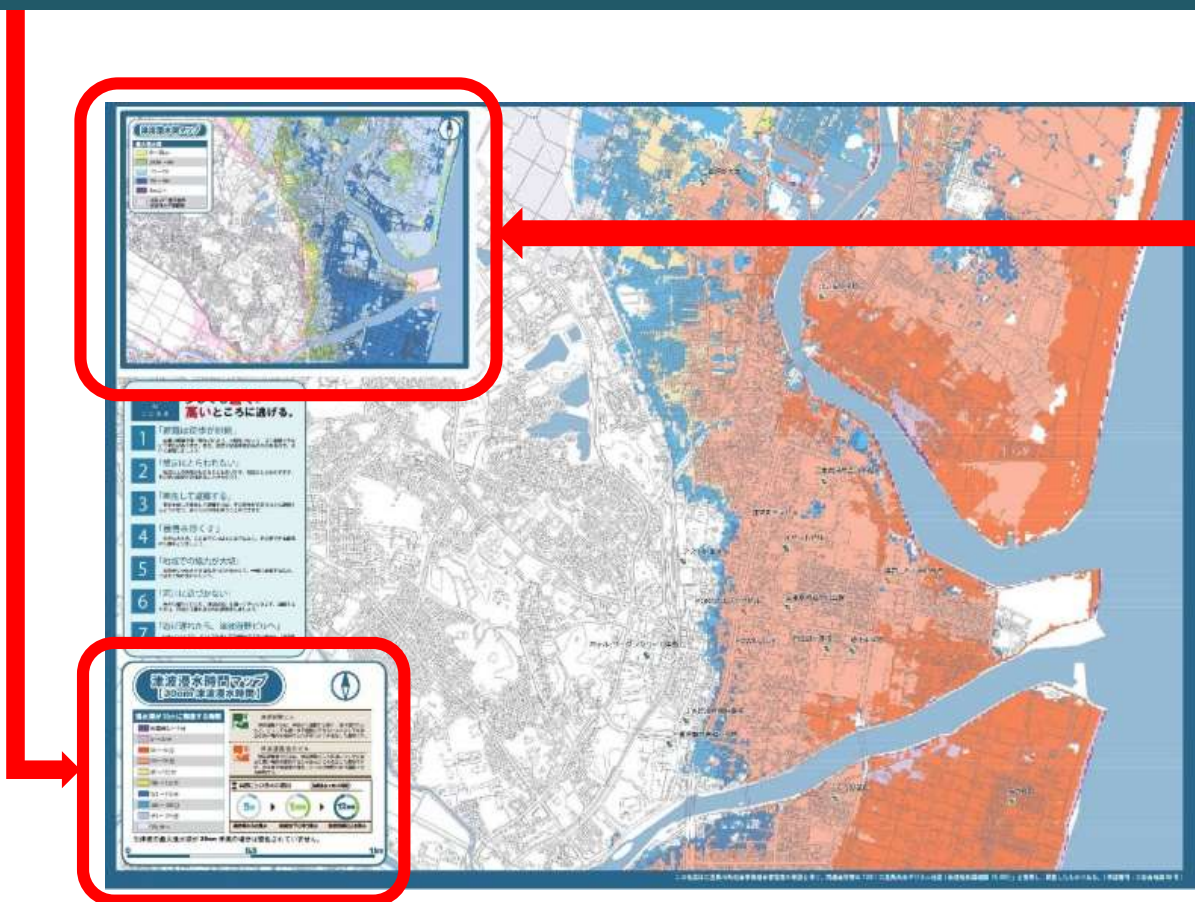
津波が到達した際に津波の浸水が最も深くなる値を表示

最大浸水深	
0～50cm	
50cm～1m	
1m～2m	
2m～5m	
5m以上	
平成23年度三重県津波浸水予測範囲	

今回の調査で得られた結果と併せて、平成23年度に三重県が実施した津波浸水予測範囲も併せて表示

避難施設

津波から避難する際に使用する「津波避難ビル」「津波避難協力ビル」を地図上に表示



津市地震防災マップの活用

- ▶ 全戸(各戸)配布するとともに、津市ホームページへ掲載(6月1日更新)
- ▶ 地域における訓練や防災学習会等の機会を捉えて啓発

地震による揺れの大きさや津波による浸水深、液状化の危険度、被害想定等を確認し、それぞれの状況に応じた対応を各家庭や地域で検討

- ▶ 地震の揺れに備えた建物の耐震化
- ▶ 家具の転倒防止対策
- ▶ 液状化に備えた建物の地盤改良
- ▶ 津波からの津波避難計画の作成
- ▶ 避難行動要支援者対策への活用など

地域の防災力の強化、防災意識の高揚

平成28年5月19日スタート

海外の小中学生と英会話交流

～三重県初 スカイプを取り入れた英語授業を創設～



～ 西橋内中学校 ～



～ オーストラリア・ペノラハイスクール ～

平成28年5月18日

地域経済外交 による産業振興

フランス・オヨナ市



外資系 企業誘致

プロマツ・ジャパン(株)
(旧社名:日本マイクロサーム(株))



海外との姉妹都市・ 友好都市提携

ブラジル・オザスコ市
中国・鎮江市



国際 スポーツ文化交流

台湾
モンゴル



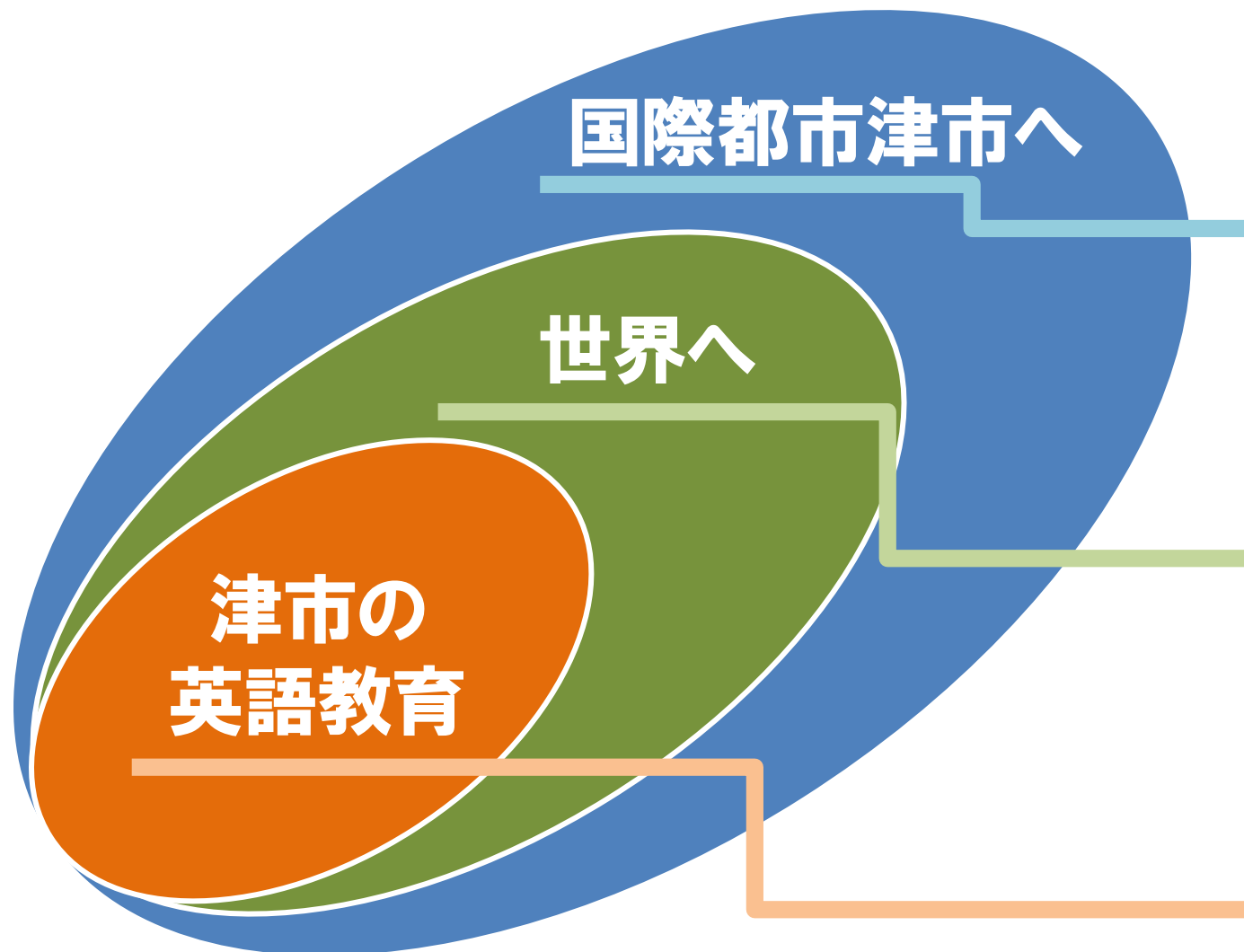
英語を使った 新しい価値の創出

津市のために
もっとできるはず
もっと高みを目指すべき

- 津市職員初の海外派遣(クレア)
- サミット関連事業の積極取組
(アメリカ領事による南が丘中学校講演会)
- 津市職員の英語力向上研修
(English Cafe“英会話”・英語ディスカッション研修)
- 職務経験者採用の活用



南が丘中学校講演会風景



みらいの津市

- 国際的な知の集積地
- 時代を先駆ける国際産業
- 世界の人々を魅了するみらい都市

世界を舞台に

～伊勢志摩サミット・東京オリンピック～

- 多分野で国際的に活躍する津市出身者を輩出

特色ある英語教育

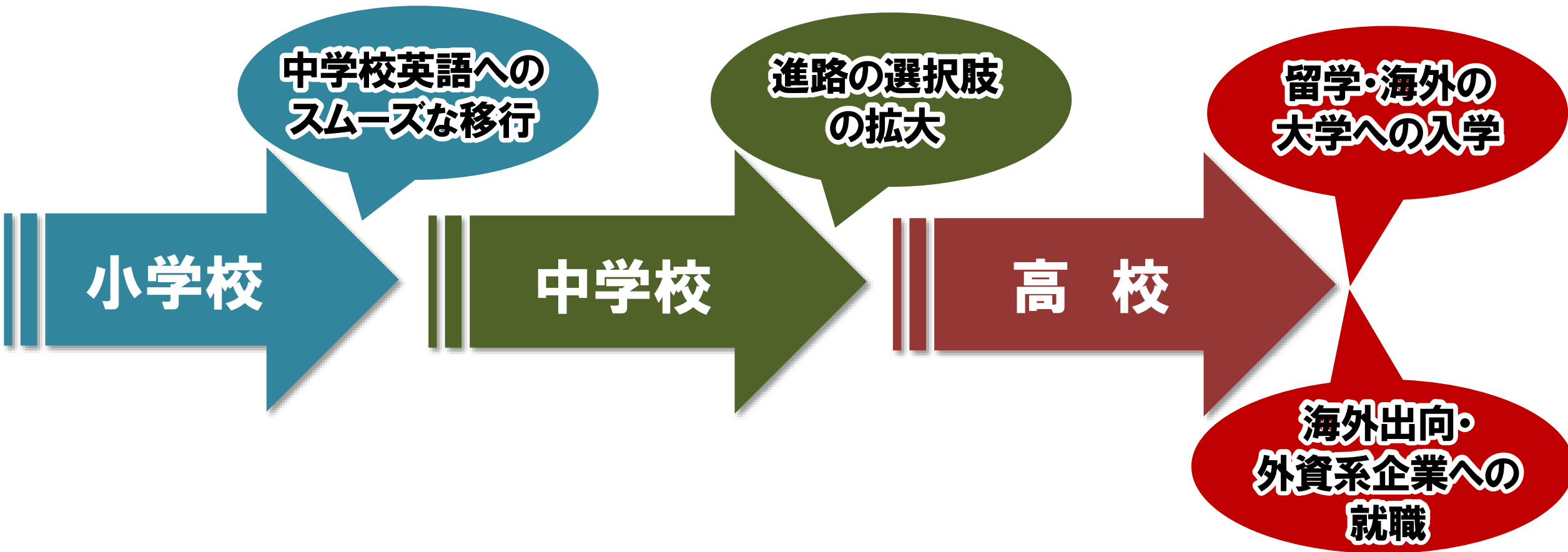
- 津市独自の教育政策
- 実践的な英会話力を重視

⇒ スカ이프を活用した英会話交流

みらいの津市を担う子どもたちへの英語教育が必要

英語教育を取り巻く背景（学習環境の変化）

津市教育委員会



- 早い段階でコミュニケーション手段としての英語の投入
- 中学校からの英語教育の負荷の軽減
- 将来に活かせるスピーキング力の育成

将来の可能性
の拡大

2020(平成32)年から実施する国の英語教育改革

「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告」(文部科学省 2014年9月発表)

改革の 骨子

- 小学校での「外国語活動」の低学年化
(現行の5・6年生スタート ⇒ 3・4年生スタートへ)
- 5・6年生では英語が教科化
- 中学校では対話重視の授業を英語で

小学生から実践的な英語力が求められる！

スカイプを取り入れた海外と交流する
英語授業を創設

海外の児童・生徒とスカイプを活用し、英語で交流

津市

市立小学校5～6年生
中学校1～3年生



直接対話できる通信ソフト

海外相手校

時差の少ないオーストラリア、
ニュージーランド等の
小中学校

- 学んだ英語を実際に使い、自分の思いを英語で伝える経験をする
- 海外の友達に“英語が通じる”喜びを体験する
- 「英語でコミュニケーションすることで何ができるか」を体感する

英語を学ぶ意欲・興味を引き出す

交流予定校(津市側・オーストラリア側)

津市教育委員会

津市

小学校

- 修成小学校
- 豊が丘小学校

中学校

- 西橋内中学校
- 美杉中学校

事前に参加希望校
を募集

オーストラリア

小学校

- フルハム ガーデنز プライマリー スクール
- マイゴンガ プライマリー スクール
- ビュート プライマリー スクール

中学校

- ペノラ ハイスクール
- ヒルサイド クリスチャン カレッジ
- イートン コミュニティー カレッジ

- 一般財団法人 自治体国際化協会(CLAIR)シドニー事務所
に日本との交流を希望する登録をした学校から選定
- ニュージーランドの交流校は今後選定

各校に教育委員会
が直接交渉

交流プログラム (例)

- 自己紹介(年齢や所属する部活動、好きな事など)
- 津市の紹介(学校紹介、歴史や観光名所など)
- 生活文化・季節感(食文化や住環境、学校生活など)
- オーストラリアの友達に日本語レッスンなどを題材

年10回程度
英語で交流

第1回スカイプ英会話交流スケジュール

津市教育委員会

日時

平成28年5月19日(木)10時00分から

取材可

場所

津市立西橋内中学校 パソコン教室(2階)

西橋内中学校

- 2年生
- 津市の紹介(歴史や観光名所、食べ物の紹介)
- お互いへの質疑応答



ペノラ ハイスクール

- 日本語を学習している2年生
- ペノラの紹介
- お互いへの質疑応答

日本との時差 +30分

津市長も交流授業に参加！

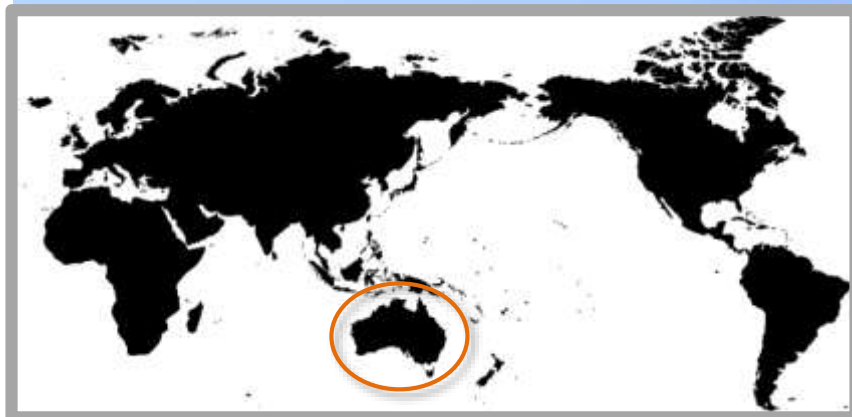
修成小学校、豊が丘小学校、美杉中学校は
平成28年6月以降に順次交流開始

南オーストラリア州ペノラの位置図

津市教育委員会

南オーストラリア州の州都アデレードから南東388kmの位置

人口(2006年時点) 1,317人
日本との時差 +30分



南オーストラリア州
ペノラ



中学校普通教室への エアコン整備計画



平成28年5月18日

エアコン整備方針

事業期間

平成28年度～平成32年度の5年間で
全ての小中学校へ整備

合併特例事業債の期間内に完了

効率的により多くの教室へ設置できるよう、学年毎のクラス数が多く、小学校より授業時間が長い**中学校から整備開始**

	校数	設置完了校(※)	整備予定校	備 考
中学校	20	2(芸濃・美里)	18	美里中は、平成29年度に「みさとの丘学園義務教育学校」へ移行予定

※ 設置完了校:芸濃中学校 建築時(平成17年度)設置済み
美里中学校 小中一貫校整備工事時(平成27年度)設置済み

エアコン整備予定校数

整備予定校 18校

**大規模改造工事に
あわせて整備 3校**
(一志中・南郊中・久居中)

**エアコンの単独整備
15校**

平成28年度当初予算に計上

大規模改造工事・設計費
2校(一志中・南郊中)

予算計上額 441,800千円

※1校(久居中)は、平成29年度当初予算に計上予定

エアコン単独整備設計費
15校

予算計上額 24,700千円

大規模改造工事によるエアコン整備

大規模改造予定校 (3校)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
一志中学校 (※)	大規模改造工事						
		エアコン整備					
南郊中学校			設計	大規模改造工事予定			
				エアコン整備予定			
久居中学校				設計予定	大規模改造工事予定		
					エアコン整備予定		

※ 一志中学校の平成26年度工事箇所へのエアコン整備は、平成28年度の工事の際に実施

大規模改造工事にあわせて整備することにより・・・

エアコンの脱着等の
二重投資の防止

工事回数の減少による
学習面への配慮

効率的かつ合理的なエアコンの整備が可能

エアコン単独整備スケジュール

入札により設計業務委託業者を決定 平成28年4月20日

平成28年9月5日までに設計業務を完了し、
12月補正に工事予算を計上予定

平成28年度内に工事契約し、平成29年の春休みを活用して
工事を行い、平成29年夏の稼働を目指した学校の整備

整備対象校

15校

橋北中学校

東橋内中学校

西橋内中学校

橋南中学校

西郊中学校

一身田中学校

豊里中学校

南が丘中学校

久居西中学校

久居東中学校

朝陽中学校

東観中学校

香海中学校

白山中学校

美杉中学校

—